

## ベトナムの国際港 アクセス橋梁開通

三井住友建設

三井住友建設がベトナムで進めていた総延長15・6キロの「ラックフェン国際港建設事業（道路・橋梁）」が完成し、ベトナム独立記念日に当たる2日に開通式が開かれた。式典にはグエン・スアン・フック首相、チュオン・クアン・ギア運輸大臣らベトナム政府要人のほか、則久芳行三井住友建設会長、在ベトナム大使館の梅田邦夫特命全権大使も出席した。

「ラックフェン国際港建設事業（道路・橋梁）」は三井住友建設が取り組むラックフ



出席者によるテープカット

エン国際港建設プロジェクトの一環で、既設の航路を横断する主橋と東西に延びる取付橋と道路で構成する。本邦技術活用案件（STEP）を適

用し、橋梁工事の工期を短縮する「プレキャストセグメント工法」、海岸部分埋め立て計画で生じる地盤沈下に対応した「ネガティブフリクション対策鋼管杭」、ニヤッタ橋に続きベトナムで2例目となる「鋼管矢板基礎」などを採用している。

施工に際してはベトナムの建設会社チュオンソン社、シエンコフォーとJVを組み、工期39カ月で完成させた。請負金額はJV総額で約360億円、三井住友建設は約245億円だった。設計はオリエンタルコンサルタンツグローバル、パデコ、日本工営、日本構造橋梁研究所のJVが担当した。